

調理教育の変遷—行事食と供応食についての—考察
 育葉学園短大家政 ○永弘悦子 堤ちはる 田中初美 中島史絵 吉中哲子

前発。習び分 た。内にク 膳がが菓れらクか
 てた。実及ら く、つ通て 本う方とられッ貫
 め、いし理食か 多あ共いは、 ほんの菜みこドで
 たつ察調事点 もででつてた。との理前く、ソま
 るに考る行諸 最著理に理る降料も多の、一在
 す遷をけ、の が顯料理料かみ以席でがの才現
 察変遷おげ、料 期で本料洋きてれ会食物ものが
 考の変に上材 治食日進西大いそは応なた中勢
 を類の部り用 明事 精。が つはで供華れ・姿
 義子そ学取使 は行い。た。化にに後の豪ら洋な
 意菓げ政でび 数のな理、つ変理的戦外もみ・的
 のる上家隔及 回礼い料かの料容に以にが和本
 育けり学間法 習儀てりな菜席内殊ス的化り基
 教お取大年手た。実過つ祭れ前会、期マ容変よの
 理にを子10理しは通わなら、とが和ス内るう育
 調育食女約調察でに變ひみ果、理い昭り、よい教
 る教応本を・考理殊ど、は結料多。クしにと理
 け理供日間目を料 殆理化た膳もい。加代物調
 お調びのの品義本れは料變し本最多は、増時なうた。
 への及でこ理意日ら数月な析ののがが理には的いれ
 関で食ま。調的、み回正き分理期物料的に菜とさ
 機ま事存在た。育て、が習の大て料治の洋時的惣るに
 育在行現し立教い向実食、い本明立西経容おげか
 教現はらと献とつ傾の事果、つ日は献。が内はあ明
 等ら回か料て遷に少理行結に、数たる。目やでりが
 高か今年資い変食減料たた理て、回しい品式関とと
 子期、10をつの事に洋れし料し習実て習形機をこ
 女治が、19録にそ行共西ら析スと実充つ実立育理る
 : 明た: 義食 : と、み分マ食のろなの献教科料い
 的はし法講應し、果代方、くをス応理しく類。等なて
 目回表方の供析結時一多容り供料む多子た。高スれ